

# 山口市男女共同参画センター だより

平成23年7月号

発行:山口市男女共同参画センター  
編集:山口市男女共同参画ネットワーク広報委員会  
〒753-0074 山口市中央二丁目5番1号(山口市民会館事務所2階)  
TEL/FAX 083-934-2841 <http://www.y-djc.com/> [✉mw3kaku@c-able.ne.jp](mailto:mw3kaku@c-able.ne.jp)

## 男女共同参画宣言都市『宇部』

平成23年4月23日(土曜日)、宇部市長の久保田后子氏を講師にお招きして、「男女共同参画宣言都市『宇部』」と題して、ご講演いただきました。

久保田市長は、平成7年に宇部の市議会議員に当選し、1期満了後に、山口県議に当選され3期務められた後の平成21年に宇部市長に就任され現在に至っています。

「宇部市は、1998年に中国地方で初の「男女共同参画宣言都市」となり、同年には市に男女共同参画課を設置しました。2001年男女共同参画センター・フォーユーを開設し、同年全国男女共同参画宣言都市サミットを開催しました。その後も2002年に男女共同参画推進条例の制定。2005年に男女共同参画基本計画、2011年には第2次男女共同参画基本計画を策定するなど男女共同参画の推進に努めています。

特に、女性の社会参画を目指して、教育長や協議会・審議会の委員に女性を積極的に登用し、市老人クラブ連合会長・市子ども会育成連絡協議会長も女性が就任しています。任期中には女性の参画率を50%に持っていきたいと思っています。

宇部市は今年、市制施行90周年を迎えますが市の発展の一因として、女性リーダーの活躍、市民運

動の高まりと「共存同栄・協同一致」の精神が挙げられます。

主婦の立場から、「苦難の時に立ち上がり、女性も参画する必要がある」との考えから政治の場へ参画してより、宇部市の女性の草の根運動に支えられて今があります。」

最後に、これからの宇部市については、「○豊かな自然に恵まれた工業都市、○高等教育機関や医療機関が集積した学術医療都市、○市民との協働による環境創造都市として、『明るく安心安全に暮らせるまちづくり』を目指す地域づくりを進めていきたい」と、抱負を語られて講演会は終了しました。



### <配偶者暴力被害者支援>

- 2005年 DV防止支援ネットワーク設置
- 2008年 配偶者暴力相談支援センター開設
- 2010年 配偶者等からの暴力防止及び被害者支援に関する基本計画策定

### <子育て支援>

- 2008年 育児サポートネット(育児休業代替要員紹介所)開設
- 2011年 宇部市次世代を担う子どもをすくすくと育てることの推進に関する条例制定
- 2011年 家庭児童相談室を設置

### <女性の社会参画>

2011.4.1 現在

- 市長
- 教育長
- 市老人クラブ連合会長
- 市子ども会育成連絡協議会長

### 協議会・審議会の 女性委員割合の推移

2001年 20.6%  
⇒2011年 36.5%

## ポジティブ・アクションの推進 —「2020年30%」に向けて—

政策・方針決定過程への女性の参画の拡大は我が国の社会にとって喫緊の課題であり、第3次男女共同参画基本計画においても、特に早急に対応すべき課題の一つとして、実効性のある積極的改善措置(ポジティブ・アクション)の推進を挙げています。

我が国における「2010年30%」の目標は、一定目標と達成まで期間の目安を示す、ゴール・アンド・タイムテーブル式に分類されます。

### 【世界におけるポジティブ・アクション】

#### ○クォーター制の導入

政治分野・議席割当制(17カ国が導入)・候補者クォーター制(34カ国が導入)・政党による自発的クォーター制(52カ国が導入)

アジアにおいては、政治分野におけるクォーター制の導入は、41か国中13か国あり、うち、議席割

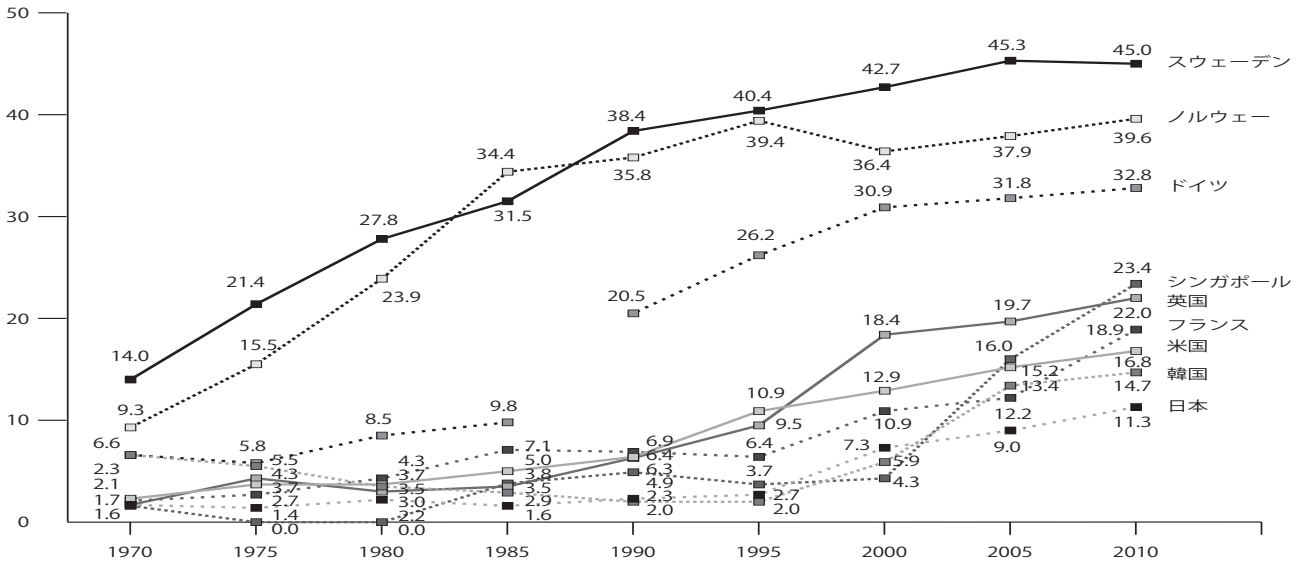
当制を導入している国が5カ国、候補者クォーター制が5カ国、政党による自発的クォーター制が3カ国となっています。

### 【我が国におけるポジティブ・アクション】

○第3次基本計画では、政治分野における女性の参画拡大が盛り込まれたことから、各政党の役員等に占める女性の割合や、衆議院議員及び参議院議員の選挙、地方公共団体の議会の選挙における女性候補の割合が高まるよう、内閣府副大臣による政党の幹事長への要請文の手交等の協力要請を実施しました。また、我が国の政党においても、女性候補者支援のための基金の創設や党側におけるクォーター制の原則を定めるなど政治分野における女性の参画拡大に向けての取り組みが行われています。

\*内閣府男女共同参画局

### 我が国と諸外国の国会議員に占める女性割合の推移



(備考) 1. IPU 資料より作成。  
2. 下院又は一院制における女性議員割合。  
3. ドイツは1985年までは、西ドイツの数字。

\*内閣府男女共同参画局

## 大内塗りでマイ箸にチャレンジ

5月28日にふるさと伝承総合センターにおいて、カナダ・台湾他の留学生を交えて、大内塗りの箸づくりを開催しました。

大内塗師の富田潤二さんが、漆の歴史、箸づくり

の工程について説明され、下塗りが施された箸に漆を塗り金箔を貼り付け、砂子(箔の粉末)をふりかけて、マイ箸作りにチャレンジしました。また、講師の佐伯先生には紙で作る箸袋を、西田さんには布で作る箸袋を指導



していただきました。針仕事が初めての留学生は、とても四苦八苦していました。留学生からは、日本での良い思い出になり、自分で作った箸は大事に使いたいと喜びの声を頂きました。



# 介護する人・される人、よりよい介護を考える 『介護講座』

65歳以上の高齢化率が高まるなか、介護が必要な高齢者も多く、手厚いケアが欠かせません。少し前までは、介護といえば女性が担うのが一般的でしたが、最近では働き手の男性が、転職や退職をして家族の介護をする例も多く見受けられるようになりました。介護の問題を考える時、男女共同参画の視点が重要となってきます。

## 第1回「あなたは知っていますか？～山口市の福祉と介護サービス～」

6月25日（土）山口市介護保険課主幹 立石陽治氏、野村幸伸氏を講師にお迎えして、

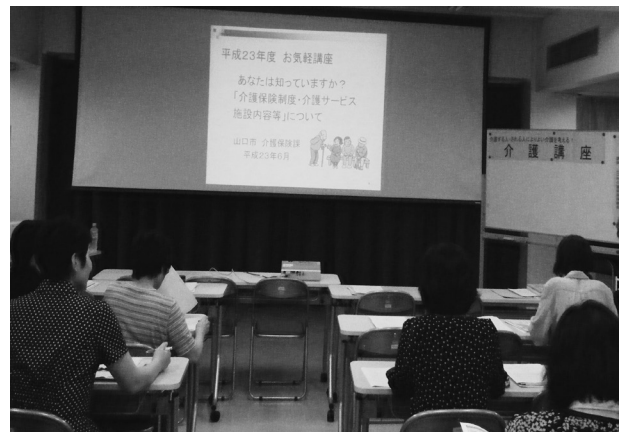
- ①介護保険制度創設の目的
- ②介護保険制度とは
- ③サービス利用までの流れについて
- ④要支援・要介護認定の流れ・受けられるサービス
- ⑤施設サービスの種類（3種類）

- ・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
- ・介護老人保険施設
- ・介護療養型医療施設

などの説明があり、最後に、次のことで締めくくられました。

- ・介護を予防するのは、他でもない自分自身です。

- ・高齢者の生活を支援する、地域包括支援センターへ相談（利用）しよう。



## 第2回「介護のしゃべり場」

7月2日（土）福祉生活協同組合 さんコープ理事長森本節子氏を迎えて、介護保険で利用できるサービスについて、介護の抱える問題や疑問について説明をうけました。

- ①介護は突然訪れる
  - ・介護は嫁や娘の問題でなく、男性も介護を担う時代。
- ②介護の現状・問題の背景
  - ・介護は、在宅介護が8割、老老介護、認認介護が多い。
  - ・65歳以上の男性の孤独死が多い。社会とのつながりが希薄なために発見がおくれる。
- ③日常の介護

- ・家族のみの介護は無理なので、近所、親戚、知人などに協力を求める。

最後に、介護には男女共同参画が不可欠だと結ばれました。



## 第3回「ロコモティブシンドローム 健康教室」

7月9日（土）山口県立大学教授 青木邦男氏を迎えて、ロコモティブシンドロームについて学習し、要介護予防の体操（運動）を実践しました。

（ロコモティブシンドローム：運動器（骨、関節、筋肉、じん帯など）の障害によって、介護・介助が必要な状態になったり、そのようになるリスクが高くなる状態）



**「男女共同参画講座」全8回  
(毎月第3土曜日予定)**

国内外のタイムリーな問題・課題について、男女共同参画の視点で考えていきます。

講師の磯野氏は、民間放送局において女性で初めての常務取締役を務められました。また、山口県における女性の地位の向上・社会参画など、男女共同参画推進のための活動をリードしてこられました。

日時：平成23年9月17日、10月15日(土)  
13:30～15:30

講師：磯野恭子氏(元岩国市教育長)  
場所：山口市男女共同参画センター 視聴覚室  
参加費：無料(1回のみ受講可)  
託児：あり(要申し込み、無料)

**学習会**

**「地域は今・子育てを取り巻く現状を知ろう!!」**

日時：平成23年9月10日(土曜日)13:30～15:30  
場所：山口市男女共同参画センター 視聴覚室  
講師：山口市こども家庭課担当

**「ワーク・ライフ・バランス研究会」**

日時：平成23年9月21日(水曜日)18:30～20:00  
場所：山口市男女共同参画センター  
内容：企業戦力としての  
ワーク・ライフ・バランスを考える

**「就労どう変わる！就労状況と**

**ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて」**  
日時：平成23年9月24日(土曜日)13:30～15:30  
場所：山口市男女共同参画センター

\*各講座とも、はがき・FAX・メールにて下記へお申し込みください。

**山口市男女共同参画センター  
フェスティバル**

平成23年11月23日(水・祝日)  
10:00～15:00

場所 山口市民会館大・小ホール  
・展示ホール・中庭  
山口市男女共同参画センター

10:00～11:30

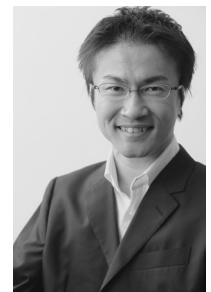
・小ホール 子育てワークショップ  
**「家庭でできる 親子ふれあい体操」**  
講師：野村 浩司氏(健康運動指導士)  
対象：親子 30組

・センター ワークショップ  
・中庭 しっちゃん鍋  
特産品の販売 楽器演奏

・展示ホール 市民団体活動報告  
パネル展示

13:00～15:00

・市民会館大ホール  
**講演会「みんながって、みんないい」**  
**講師 作家 乙武 洋匡氏**  
自身の経験をユーモラスに綴った『五体不満足』(講談社)が多くの共感を呼び、500万部を越す大ベストセラーに。



全ての申し込み先・問い合わせ先

山口市男女共同参画センター 〒753-0074 山口市中央二丁目5番1号(山口市民会館事務所2階)  
TEL/FAX 083-934-2841 <http://www.y-djc.com/> [✉mw3kaku@c-able.ne.jp](mailto:mw3kaku@c-able.ne.jp)

**おんなの目  
おとこの目**

「なでしこジャパン」の快挙に、日本国中が歓喜したが、選手たちの待遇はとてプロと呼べるものではないことがマスコミでも報じられている。その中でも、まちづくりの一

環として岡山県・湯郷温泉の取り組みが注目されている。長引く不況で、実業団のスポーツ環境がどんどん縮小していく中で、選手を温泉旅館の従業員として雇用し、収入と練習環境を確保するというスタイルは、地域のスポーツクラブを運営する上で非常に面白い取り組みである。選手が身近な存在に

なり、地域の人達も応援のしがいがあるというものだ。昔は、チーム競技でのプロスポーツと言えば野球くらいしか無かったが、今はいろいろなスポーツがプロ化を目指している。当市も同じように温泉という資源を持つ。湯郷の取り組みも参考にしてみてもはどうか。(た)